



# 認定特定非営利活動 (NPO) 法人 柔道教育ソリダリティー

Newsletter vol. 16

Certified NPO – Solidarity of International Judo Education

①元研修生カリッド氏と光本国際担当師範(パレスチナ) ②第15回講演会(東京・千代田区) ③桜フェスティバル(ロシア・サンクトペテルブルグ)  
④日中友好南京柔道館(中国・南京) ⑤リサイクル柔道衣の贈呈(ラオス・サワナケート) ⑥柔道教室(ロシア・サンクトペテルブルグ)

## 国際的な柔道の普及—「自他共栄」を実現するために

—To promote the international popularization of judo and realization of *jitakyoei* (mutual prosperity for oneself and others).

オリンピックスポーツとして世界の多くの人に愛好されている柔道。現在、国際柔道連盟(IJF)には、200の国と地域が加盟しています。本法人は、講道館柔道創始者、嘉納治五郎師範が掲げた「自他共栄」の実現を目指しています。柔道を通して世界中の人々が心を通い合わせ、お互いの文化を理解することが「自他共栄」を実現することの近道と考えてきます。

## 柔道を通して日本の心を伝え、様々な国との文化交流に役立てたい

—We communicate the Japanese spirit.

現在の国際情勢を考えると、紛争やテロ、地球環境の劣化、南北格差拡大、人口増加など問題が山積みされています。そんな状況の中、多くの発展途上国では柔道指導者、道衣、畳、教材などが不足し、柔道を学びたくても学べない現状があります。本法人は、柔道を通して日本の心を伝え、多くの国、地域との文化・スポーツ交流を推進します。

## 今、大切なことは、子どもたちをいかにして育てていくか

—Educate youth through judo.

柔道を通して人間教育を実践します。これからの社会を担っていく青少年の育成は、何よりも重要です。柔道によって、元気で明るく、たくましい子どもたちを育て、その輪を広げていきます。

※柔道教育ソリダリティーは、2014年1月27日より神奈川県庁から継続認定を受けました。本法人へのご寄付は、寄付金控除、損金算入などの税の優遇措置の対象になります。



特定非営利活動法人(神奈川県庁認定)  
柔道教育ソリダリティー

認定特定非営利活動法人

柔道教育ソリダリティー会報第16号

2014年10月1日発行 Published 1st of October 2014

発行人: 山下泰裕

発行所: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

東海大学 体育学部 柔道研究室

Address: 4-1-1 Kitakaname, Hiratsuka-shi, Kanagawa

Japan, 259-1292

T E L: 0463-58-1211 (内線3524)

F A X: 0463-50-2230

Email: judo3524@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp

Vol. 16

<http://npj-jks.jp>

柔道 友情 平和

検索

## Sport for Tomorrow (SFT)

～よりよい未来のために、スポーツの価値とオリンピックムーブメントを広げたい～第15回講演会より抜粋



皆さまのご支援、ご協力を得まして本法人も9年目を迎えることになりました。我々の活動も少しずつ、皆さまから評価を得られるようになってきております。最近、喜ばしく感じたことを2件、ご報告いたします。

今年の1月に安倍晋三総理がアフリカ3カ国をご訪問され、最初に訪れたコートジボワールで柔道の大会を視察されました。この大会には『安倍杯』という冠が付けられ、総理のご訪問に合わせ開催されました。この時、本法人に「リサイクル柔道衣100着をコートジボワールの子供たちに贈呈してくれないか」と声がかかりました。私にも一緒に現地に行ってほしいというお話もありましたが、急なご依頼でしたので、同行することはできませんでした。柔道衣の寄贈には喜んで協力をさせていただきました。これは、スポーツ分野における日本政府の国際貢献策として発表されたSport for Tomorrow (SFT) プログラムの事業の第一号案件となりました。

もう1件は、同じく安倍総理がゴールデンウィークにヨーロッパの国々を精力的に回られた時のことです。フランスのオランド大統領と首脳会談をされ、共同宣言を出されました。その中に「日仏の政府は、全日本柔道連盟あるいはフランス柔道連盟と協力し、イスラエルとパレスチナの柔道交流を支援する」という内容がありました。本法人が皆さまのご支援を頂きながら2010年から進めてきた「イスラエル・パレスチナ交流事業」が高く評価され、柔道大国の日本とフランスが協力して支援しようという話につながったからと伺いました。

さらに、今年は日本とロシアの「日露武道交流年(外務省認定事業)」に当たります。私もこの事業の一環として、現地で柔道の指導を行いました。新聞、ラジオといったマスコミにも取り上げられ、ロシアのテレビでもこの武道交流、柔道教室が放送されました。ウクライナ問題を抱える難しい状況でしたが、桜フェスティバル(JT主催)や柔道教室を開催できたことを、ロシア側も高く評価してくれるのではと思っています。

私の人生の師である松前重義博士は、日本をこよなく愛しておられました。「国を愛するからこそ、細くてもいいから、学術・芸術・スポーツ・文化で交流を進めるのだ」とお話をされたことがあります。私は、国家間で難しい時期があっても、お互いに理解する努力を重ねていく「草の根交流」が極めて大事であろうと思っています。今年もいろいろな活動計画案がありますが、さまざまな国との交流を続けて参ります。

このような評価が得られるようになって参りましたのも、本法人をご支持して下さる多くの皆さまのおかげです。皆さまから、熱心なご支持を頂いておりますことに改めて感謝を申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー(神奈川県庁認定) 理事長 山下泰裕

## 主な活動 (2014年1月～2014年6月) - Major Activities -

年 月 日	事 業 内 容
2014年1月11日	コートジボワール柔道・武道連盟へリサイクル柔道衣100着を贈呈(コートジボワール・アビジャン)
2014年1月30日～2月7日	光本健次国際担当師範をイスラエル・パレスチナへ派遣(イスラエル・パレスチナ)
2014年2月7日～14日	モンゴル男子ナショナルチームが来日、柔道練成三春柔道大会に参加(福島県・三春町)
2014年3月	DVD『山下泰裕の攻めの柔道』を製作
2014年3月9日～15日	日中友好南京柔道館へ学生ボランティア2名を派遣(中国・南京)
2014年4月	リサイクル柔道衣がラオス・サワナケートに到着(ラオス・サワナケート)
2014年4月23日～5月9日	インターンシップ生として藤沢奈津美さんを受入れ(東海大学)
2014年5月16日	山下泰裕理事長・浅井信幸ロシア交流担当をロシアへ派遣(ロシア・サンクトペテルブルグ)
2014年5月30日	塚田真希さんを講師に迎え、第15回講演会を開催(東京・千代田区)
2014年5月30日	第9回総会を開催(東京・千代田区)

1



1. 柔道練成三春大会に出場したモンゴルナショナルチームの高校生
2. 地元の新聞に大きく取り上げられた光本国際担当師範のパレスチナ訪問

1. Mongolian national team high school students at the Judo Training Competition at Miharu
2. Mitsumoto international coach's visit to Palestine was given much coverage in the local media.

2





## 柔道用具（リサイクル柔道衣・畳）支援事業

2013年12月にコートジボアール、アビジャン市の日本大使館に送ったリサイクル柔道衣100着が2014年1月にコートジボワール柔道・武道連盟に贈呈されました。



本法人が寄附したリサイクル柔道衣をコートジボアールの子供達に贈呈する安倍首相

In December 2013, 100 recycled judo uniforms sent to the Japanese Embassy in Cote d'Ivoire were donated to the Cote d'Ivoire Judo Association.

2014年1月の安倍首相がアフリカを訪問した際、コートジボワールのアビジャンにて首相の名前を冠した「安倍杯」行われました。そこで、外務省Sport for tomorrow (SFT) プログラムと協力し、コートジボワール柔道・武道連盟に対して柔道衣100着の寄附を行いました。SFTは、2020年東京オリンピックに向け、開発途上国など100カ国以上の国において、世界のよりよい未来のため、多くの人々にスポーツの価値とオリンピック・ムーブメントを広げていく取り組みです。



リサイクル柔道衣を手に、嬉しそうなサワナケートの子供達

2014年1月にラオス、ビエンチャンに送ったリサイクル柔道衣50着が、サワナケート市の道場へ贈呈されました。

In January 2014, 50 recycled judo uniforms sent to Vientiane in Laos were given to the city of Savannakhet.

2013年6月にラオスに届いたリサイクル柔道衣が、JICAシニア海外ボランティアの坂東雅邦氏を通じ、サワナケートの道場に寄附されました。

## 外国への指導者派遣事業

5月14日～19日の期間、山下理事長及び浅井ロシア担当がロシアのサンクト・ペテルブルグを訪問し、5月15日にトゥルバ・スタライ・チェリ道場で柔道教室を開催しました。

From May 14 to 19, President Yamashita and Mr Asai, who is in charge of Russia, visited St Petersburg, and hosted judo lessons at a local judo hall on May 15.

### 浅井信幸ロシア担当より報告です



2014年8月に亡くなられたアナトリー・ラフリン氏の墓前で



ラフリン氏の残した柔道クラブで柔道教室を行う山下理事長

本法人と深い交流を続けてきたプーチン大統領の柔道恩師、故ラフリン先生の墓参りを16日の早朝に行いました。先生の御子息ミハイルとエフゲーニ、外国からの指導者受入事業で受け入れたエカテリーナとエレナ、先生の教え子であるシェスタコフ国家院議員と共にラフリン先生を偲びました。

午後にラフリン先生からミハイルが受け継いだ道場クラブ「トゥルバ・スタライ・チェリ」で柔道教室を行いました。10代の選手35名、コーチ5名が参加しました。この教室は外務省の日露武道交流年記念事業に認定されています。在サンクト・ペテルブルグ山村嘉宏総領事から、ご挨拶をいただきました。山下理事長から大外刈、大内刈、内股、それらの連絡技、絞技の説明がありました。質問コーナーでは「試合前に緊張するのでしょうか？」「プーチン大統領は柔道が強かったのですか？」等の質問がありました。若者たちの目はずっと輝いていました。最後に記念撮影をし、山下理事長は一人一人と握手をし、「柔道・友情・平和」のリストバンドを渡しました。この柔道教室には、ロンドン五輪で優勝した100キロ級のハイブラエフ選手が、山下理事長の技を学びたいと特別参加していました。この模様はテレビニュースで報道されました。

17日にコマロフ名称植物園でJT主催の桜フェスティバルが開催されました。山下理事長は名誉実行委員長を務めました。山下理事長は、「日本の文化、風習の一端をロシアの皆様にご紹介できたいと思います。今はまだ細い日露関係が、力強く地に根を張り、見事な花を咲かせる桜の木のように、両国の交流と相互理解が深まること。そして、友好関係のパイプが太くなることを心から願っています」と挨拶しました。

柔道マスタークラスや桜フェスティバルにはスポーツや文化交流を通じて日露友好関係が発展してほしいという願いが込められていると思います。これからも私たちは「柔道・友情・平和」のミッションに立ち活動していきたいと願っています。最後になりましたが、本法人の活動を御理解下さり、ご支援下さる皆さまに心より感謝申し上げます。

## 外国への指導者派遣事業

2014年1月30日～2月7日の期間、光本健次国際担当師範（東海大学武道学科教授）をイスラエル及びパレスチナに派遣しました。

From January 30 to February 7, 2014, Kenji Mitsumoto international coach was sent to Israel and Palestine.



パレスチナオリンピック委員会の  
前で教え子のモニエル君と

### 国際担当師範 光本健次氏より報告です

国際担当師範として、視察と巡回指導を行った。この地には、立命館大学の春日俊教授と、びわこ成蹊スポーツ大学の村田正夫准教授に訪問していただいている。私は初めての訪問となるが、東海大学柔道部及び体育学部で、イスラエルのアディエル君、ダニエル君、シャイ君、パレスチナのカリッド君、モニエル君を約1ヶ月間、受け入れている。私は、日本で指導したかわいい弟子たちとの再会が楽しみであった。

パレスチナは、ベツレヘム・ナブロス・エルサレム地域を車で移動する巡回指導にあたった。対象は、幼児・ジュニア・シニア（初心者）、ナショナルチームの選手などで、レベルや年齢差も大きく指導上難しい面もあった。しかし、それぞれの道場で大きな歓迎をしてくれて、楽しく実施することができた。練習では、教え子のカリッド君やモニエル君が先頭に立ち、大きな声で指示を出していた。日本の研修の成果を垣間見たようで大変頼もしく感じた。練習環境（道場・場所）は移動時間がかかる上、選手たちが同じ道場で練習することが難しく、整備された施設や畳が少なかった。多くの道場がマットの上で練習を行っていた。今後、支援ができるのであれば、このような場所に柔道衣や畳などを整えてあげたいと思う。練習環境は決して恵まれてはいないが、練習に取り組む一人一人の目は、柔道に対する大きな夢と希望で輝いて見えた。3日しか指導していない私の柔道衣は、道場のほこりと汚れで、すでに黒ずんでいた。

イスラエルに移動し、タルパス柔道クラブのデービット先生とベニー先生ご兄弟にお世話いただき、エルサレム市内の柔道クラブやスクールで指導を行った。イスラエルには教え子が3人いるが、デービット先生の息子のアディエル君は兵役で参加できず、ダニエル君とシャイ君の2人が練習の先頭に立ってくれた。4歳児クラス、9～12歳クラス、13～17歳クラス、アダルトクラス、選手クラスなどに分けられ、指導体制や指導方法もヨーロッパ流に出来上がっているように感じた。

春日俊、村田正夫両先生の報告にもあったが、イスラエルとパレスチナでは練習環境や指導体制に大きな格差が見受けられた。支援する上でプログラムの見直しも必要であろう。日本で研修を受けた教え子たちは、自分たちのポジションで頑張っており、確実に研修の成果が上っていた。

紛争の絶えないイスラエルとパレスチナの問題は、日本人である我々には簡単には理解できない。日本でパレスチナのモニエル君と一緒に研修を受けたイスラエルのダニエル君は、「モニエルと一緒に過ごし、寄り添って生きていく自信が持てた、この種を木に、さらに実へと育てていきたい」と話してくれた。法人のスローガンである「柔道・友情・平和」の3つの言葉が、柔道を通して日本を含む両国がお互いに友情を育み、平和に続く道りをつくっているものと信じたい。



イスラエルの道場で技の指導を行う光本国際担当師範

## 第15回講演会 「英国帰国報告ーさまざまな人との出会いを通して経験したことー」

2014年5月30日（金）、東京都・千代田区の如水会館にて、第15回講演会を開催しました。「英国帰国報告ーさまざまな人との出会いを通して経験したことー」の演題で塚田真希さんが話しました。



笑顔で英国での経験を語る塚田さん

On May 30, 2014, at the Josuikaikan Hall in central Tokyo the 15<sup>th</sup> annual lecture meeting was held with the theme of "Report on Returning from England—What I Learned through Many Encounters."

2014年5月30日（金）、東京都・千代田区の如水会館にて、第15回講演会を開催しました。日本オリンピック委員会（JOC）の2011年度スポーツ指導者海外研修員（長期派遣）として、2011年9月から2013年9月の期間、イギリスで研修を行った塚田真希さんが「英国帰国報告ーさまざまな人との出会いを通して経験したことー」の演題で語りました。会場には、130名の聴講者が集まりました。

塚田さんは、9ヶ月間通った語学学校での出会い。ロンドンオリンピック前ということでロンドンに集まったナショナルチームの選手のトレーニングキャンプに参加したこと。そこで出会った選手との交流。イギリスの様々な土地の町道場に呼ばれ、柔道を教える中で日本との違いに悩んだこと。そんな中、友人の一言が大きな助けになったなどを話されました。

塚田さんは、最後に「イギリスで暮らしたことで、自分が日本で、どういった環境で柔道をやったのか、ということを確認することが出来ました。柔道の技を仕上げて行く過程で大切なことは、技を掛ける側と受ける側のコラボレーションだと今回の留学で強く感じました。柔道が上手く、強い人が受けてこそ、掛ける人の技が磨かれる。日本には優れた受け手が多いために、技術が向上しやすい。掛けてと受け手の関係性が、柔道上達の根本にあるのかと今回の留学経験を通して考えるようになりました」と締めくくりました。



会場には130名の聴講者が集まり、臨時席が設置された



## 学生ボランティア派遣事業

2014年3月2日～9日の期間、学生ボランティアとして平井亮輔君、富沢裕一君を中国南京市「日中友好南京柔道館」に派遣しました。

Ryosuke Hirai and Hirokazu Tomizawa were sent as student volunteers to the Nanjing Japan China Judo Friendship Center in the Chinese city of Nanjing from March 2 to 9, 2014.



日中友好南京柔道館では、多くの子どもたちが柔道教室に参加した



南京大虐殺記念館の平和の塔の前で

### 学生ボランティア 平井亮輔君より報告です

初日、南京体育学校の男子と乱取稽古を行い、中国の柔道のレベルが高いことを感じました。初めから終わりまで一切手を抜かず、一生懸命柔道をしている姿を見て素晴らしい柔道家だと感じました。

2日目以降は、女子柔道部に技術指導、南京小学校での受身の指導と体捌きを指導。夜は初心者を対象に、技術指導を行いました。「内股」「体落」の指導を女子に行った際、私たちは、前襟を持って指導しました。しかし、女子は奥襟を持つ選手が多く、選手たちは「奥襟を持った技の入り方はどうすればいいのか？」と聞きにきました。意識の高い選手が多いことに指導のやりがいを感じ、私たちも必死に指導にあたりました。

南京小学校では、柔道衣がない児童たちに受身、体捌きを指導しました。日本では当たり前柔道衣を着ていますが、世界各国ではそうではないことに驚きました。小学生たちは、畳に上がる前、必ず脱いだ靴を揃え、畳の前で一礼していました。日本の礼儀を教えている常東先生に感謝し、それを身につけている子供たちに感動しました。

夜に行った初心者の教室では、「大内刈」「大外刈」「体落」「内股」「連続技」を指導しました。わかりやすいように大切なポイントをおさえた指導を心がけました。言葉が通じないことが嫌だったので、簡単な中国語を交えながら指導にあたりました。

その後、3月で中日友好南京柔道館が4周年ということで記念式典に参加しました。日本と中国が柔道を通じてこれからも「友情」「平和」をモットーに発展してほしいと思いました。

最後に、「南京大虐殺博物館」「南京博物館」「中山陵」を見学しました。そこで、戦争の怖さ、虚しさ、残酷さを目の当たりにし、とても悲しい気持ちになりました。世界で、戦争や内戦をする多くの国があることに「やめてほしい」という願いがより増しました。柔道を通じて、世界との友情が生まれ平和につながることを望みます。今回、柔道の指導でこのような貴重な体験をさせて頂きほんとうにありがとうございました。私は、これから指導者の立場になります。より多くの勉強をし、「柔道・友情・平和」を心がけて指導していこうと思います。ありがとうございました。

### 学生ボランティア 富沢裕一君より報告です

南京での柔道環境は、私の考える中国の想像と違い、整った素晴らしい施設でした。柔道指導で南京に行くまでは、言葉が通じないことや、環境問題などから、不安がありました。けれど、南京の人達が温かく出迎えてくれ、柔道指導をすることが出来ました。私たちの派遣中に南京柔道館が開館4周年を迎え、記念式典ではたくさんの人と柔道をすることが出来ました。

劉先生、南京柔道連盟の先生方、常東氏には大変お世話になりました。中国の柔道の現状や課題などを聞き、それを踏まえた上で指導計画をたて、日本の柔道の良さを伝えることを目標に柔道指導に取り組むことが出来たと思っています。

男子選手との練習では、中国の選手は体が大きく力が強いのが印象的でした。乱取をしてみても感じたことは、力に頼ってしまい組手が雑になり、もつれ際の勝負が苦手ということです。

女子選手との練習では、技の講義をしました。中国の女子選手の特徴は、身長が高く、大技を中心に練習をしていました。釣り手の使い方が奥襟を持つだけで使いきれいでなかったため、組手を指導しました。中国の選手は、貪欲に強くなることを考え、少しでも学び取ろうとする気持ちがありました。技の感覚を知りたいから、実際に投げてくれと言われ、日本ではないことなので驚くと同時に指導にも熱が入りました。

南京小学校での柔道指導では、2014年南京ユースオリンピックに向け、スポーツに力を入れていることを知りました。南京小学校の子供たちは、とにかく元気がいっぱいでした。柔道場は体育館の半分に畳を敷き、学年ごとに授業の一環として柔道を取り入れていました。子供たちは道着がない中、柔道の基本動作や体捌きの練習を何回もしていました。子ども達は、柔道場に入る前と終わりに必ず礼をしていた。靴を揃えるなど、小さいうちから気を付けることで、自然と出来るようになって改めて感じました。

南京での1週間の柔道指導は、毎日が充実し楽しい日々でした。一生懸命に教えると、一生懸命になって取り組んでくれ、指導する楽しさを学びました。南京の皆さんに出会えたことは、今後の私に活かせる貴重な経験、一生の財産となりました。中国の歴史や文化を知ることで、私の知識の幅も広がりました。この経験が出来たのは、NPO法人の皆さま、劉先生、南京柔道連盟の先生方、常東氏のおかげです。感謝してもしきれません。南京の柔道指導で学んだ、柔道を楽しむ喜びを感じながら、今後活かしていきたいです。また、南京の皆さんに会えるのを楽しみにしています。



南京柔道館で挨拶をする平井君と富沢君、通訳を本法人で研修をした常東氏が行った



南京小学校の子どもたちに体捌きの説明をする富沢君

## 海外柔道普及支援事業

2014年2月7日～14日までモンゴルナショナルチームの男子高校生10名を受入れました。



初めて日本の高校生と対戦したモンゴルナショナルチームの高校生

We played host to 10 male high school students from the Mongolian national team from February 7 to 14, 2014.

2014年2月7日～14日までモンゴルナショナルチームの男子高校生10名を受入れました。2月8日(土)に開催された「復興支援全国高等学校選抜柔道錬成三春大会」に参加しました。モンゴルチームは予選リーグを勝ち進み、決勝リーグに出場しました。日本の高校生の柔道に触れたモンゴル選手の感想文を紹介します。本法人は、引き続き外国からの高校生チームの招へいを行っています。

日本の柔道大会についてはレベルが高くてとても強い選手がたくさんいました。二日目の練習試合や、技の説明がとても面白かった。習ったことをこれからの練習で生かして行きたいと思っています。ありがとうございます。  
S.Khangai(ハンガイ)

僕は大会に参加してとても気持ちが良かった。なぜなら日本に行って、自分と同じ年齢のトップ選手たちと試合をしたかったからです。試合のレベルが高くてチームでたくさん勝つ事が出来ませんでした。また参加したいです。ありがとうございました。E.Amartyvshin(アマルトブシン)

## インターンシップ生受入事業

2014年4月23日～5月9日の期間、東海大学卒業生の藤沢奈津美さんをインターンシップ生として受入れました。本法人が受け入れたインターンシップ生は藤沢さんで3名となりました。

From April 23 to May 9, 2014, Tokai University graduate Natsumi Fujisawa participated in an internship. She became the third person to participate in our internships.

### インターンシップ生 藤沢奈津美さんより報告です



事務作業を手伝う藤沢さん

私がこのNPOの活動に参加させていただくようになったのは、約2年前のことです。東海大学女子柔道部でトレーナーとして活動していた私は、柔道を学ぶためにやってきた外国人選手と出会う機会がありました。その中で、柔道教育ソリダリティーの外国人選手受入れによって、アフガニスタンから来日した女性選手が私に話してくれたことから大切なことを学びました。それは、日本という恵まれた国で過ごしてきた私にとって、想像もつかないような彼女の母国の現状でした。女性の身分がとても低く扱われていること。女性がスポーツに参加することすら困難な状況であるということ。そして、日本で練習できることがどれだけ幸せかということ…。私はそのとき、自分がスポーツに励んできたことや、スポーツを通じて素晴らしい経験ができていたことが、いかに「有り難い」ということに気付かされました。彼女との出会いをきっかけに、私は柔道教育ソリダリティーの活動に興味を持ちました。

厳しい国際情勢の中、柔道の普及を通じて世界中の人々と理解を深め合い平和に貢献している柔道教育ソリダリティーの業務を通して、私は多くのことを学びました。そして、日本国内だけでなく世界の問題にも目を向けるようになりました。世界にはまだまだ知らないことがたくさんあります。自ら知ろうとしなければ、そのまま見過ごしてしまうかもしれません。今回のインターンシップを通して柔道教育ソリダリティーの理念の素晴らしさを改めて感じました。その理念に賛同する多くの方々の協力があり、このような素晴らしい活動ができていたのだということを実感いたしました。私も将来、スポーツを通じた国際的な活動において貢献できる存在になりたいと思います。そのために、今後も精進していきたいと思っています。このような機会を下されたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 教材制作事業



教材用DVDとして、有限会社稲葉プランニングのご協力の下、『山下泰裕の攻めの柔道』を製作しました。

We produced an educational DVD entitled "The Attacking Judo of Yasuhiro Yamashita," with the cooperation of Inaba Planning Ltd.

稲葉プランニングのご協力の下、『山下泰裕の攻めの柔道』をテーマに教材用DVDを製作しました。山下理事長の現役時代の世界選手権や日本選手権で決めた技の数々をまとめ、当時の映像をDVDにしました。柔道途上国などを対象に柔道教材として無料配布していきます。

## 今後の予定 (2014年7月～)

### 外国への指導者派遣事業



2014年8月2日～20日の期間、学生ボランティアとして石井勇人君をラオス・ビエンチャンへ派遣しました。

From August 2 to 20, 2014, we sent Yuto Ishii to Vientiane in Laos as a student volunteer.



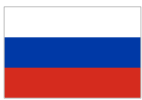
2014年8月25日～9月8日の期間、アメリカ・ワシントンDCへ藤井岳氏を派遣しました。

We sent Gaku Fujii to Washington DC from August to September 2014.



2014年8月10日～8月16日の期間、アメリカ・サンノゼ大学へ佐藤愛子さんを派遣しました。

In August 2014 we sent Aiko Sato to San Jose State University in the US.



2014年11月5日～11月12日の期間、日露武道交流年事業の一環としてロシア・モスクワへ派遣される山下理事長、浅井ロシア担当を支援します。

In November 2014, as a part of programs to commemorate the Japan-Russia Martial Arts Exchange Year, President Yamashita and Mr. Asai, who is in charge of Russia, will visit Moscow.

### 留学生柔道体験

2014年7月16日及び8月1日、東海大学日本語別科の学生を対象に柔道体験教室を開催しました。

On July 16 and August 1, 2014, we held a special judo instruction class for students of Tokai University Japanese Language Course for International Students.

### 講演会事業

2014年12月2日、第16回講演会「日中友好柔道館の歩み」の演題で、講演会を開催します。

The 16<sup>th</sup> Lecture meeting will be organized on December 2, 2014.

### 教材制作事業

2014年9月22日、柔道の「けが防止」DVDのための撮影を行いました。

On September 22, 2014, we filmed a DVD on preventing injuries.

### 外国からの選手受入事業



2014年7月2日～7月30日の期間、キルギスよりコーチ及び女子選手計4名を招へいしました。

We invited four people including a coach and female competitors from Kyrgyzstan from July 2 to July 30, 2014.



2014年7月21日～7月24日の期間、中国・青島市「日中友好青島柔道館」の役員及び子どもたち計18名を招へいしました。

In July 2014 we welcomed 18 people including the officials and children from the Japan-China Judo Friendship Center in Qingdao, China.



2014年8月2日～9月2日の期間、東海大学の協力の下、UAEよりコーチ及び選手計8名を招へいしました。

From August to September 2014 we welcomed eight people including a coach and competitors from the UAE.



2014年11月9日～12月8日の期間、柔道途上国8カ国より指導者を受入れ、指導者養成コーチングセミナーを開催します。

From November to December 2014 we will welcome instructors from eight countries, and host an instructors coaching seminar.

### リサイクル柔道衣・畳支援事業

SFTプログラムと協力し、コロンビア及びブラジルへ柔道衣100着を送付しました。また、要請に応じ、他地域にも送付します。

In cooperation with the SFT Program, we sent 100 judo uniforms to Columbia and Brazil.

### 柔道教室

2014年8月5日～8日、東海大学望星学塾と国際親善週間、8月29日～31日、第4回望星スポーツジャンボリーを協賛しました。また、11月30日第34回塾友杯を協賛します。

From August 5 to 8, 2014, we supported the International Friendship Week at Tokai University Bosei Gakujuku, and from August 29 to 31 the 4<sup>th</sup> Bosei Sports Jamboree. On November 30, we will support the 34<sup>th</sup> Bosei Gakujuku Friendship Cup.

### リサイクル柔道衣・畳を募集しています！

洗濯した柔道衣を上下(帯)をセットにして、下記住所にヤマト運輸又は佐川急便でお送り下さい。また、畳をご寄付頂ける団体等がございましたら、事務局0463-58-1211(内線3524、担当:小澤)までご連絡ください。

〒259-1292 平塚市北金目4-1-1 東海大学柔道研究室内  
NPO法人柔道教育ソリダリティー事務局 宛

### 最新活動は、ホームページをご覧ください！

本法人ホームページでは、随時活動の報告を行っています。また、柔道教育ソリダリティーのバックナンバー講演録・会報誌を無料でダウンロードすることができます。印刷物でご要望の方は、事務局0463-58-1211(内線3524)までご連絡下さい。

柔道 友情 平和

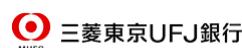
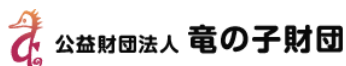
検索

<http://npo-jks.jp>



# 2014年度 寄付・団体会員一覧

## — Supporters —



三井物産(株)、(公財)竜の子財団、(学)東海大学、ミズノ(株)、三菱商事(株)、日本たばこ産業(株)、羽田タートルサービス(株)、アスカコーポレーション(株)、(株)わくわくコーポレーション、(株)小松製作所、大成建設(株)、(株)神田製作所、早川繊維工業(株)、(株)東芝、三井住友海上火災保険(株)、秀和ビルメンテナンス(株)、サポートセンター(株)、(株)三菱東京UFJ銀行

(株)アサヒ、(株)アシックス、(株)アットライズ、植木会計事務所、(株)オネスト、(株)オピカ、(学)加計学園、(株)霞ヶ関東海倶楽部、神奈川柔道連盟、カネマツ運輸(株)、川中不動産(株)、共和電子(株)、京王観光(株)、京王電鉄(株)、(株)廣洋、(学)国際学園 九州医療スポーツ専門学校、相模トライアム(株)、(株)三枝協、秀和ビルメンテナンス(株)、(株)シー・ピー・オー設計、(株)鈴廣蒲鉾本店、(株)成通、(株)サンレー、総合警備保障(株)、(株)ダイナミックスパースンズ東京、(株)築地すし好、(株)東海教育研究所、東海教育産業(株)、東海大学女子柔道部、(株)東海ビルメンテナンス、(株)東芝 社会インフラシステム社、(医)徳真会グループ、土志田建設(株)、(農)(有)十津川農場、(株)豊蔵コーポレーション、(株)ニッセンホールディングス、日本BS放送(株)、(医)白磁会中之島センタービル歯科、(株)博報堂DYメディアパートナーズ、(株)ハート出版、(株)富士サービス、富士ゼロックス神奈川(株)、(株)藤野製作所、(株)ホームイングループメントひろせ、(株)マツヒロ、丸竹コーポレーション(株)、(有)みのさんファーム、武蔵野市柔道連盟、明光産業(株)、柳田国際法律事務所、(株)山口工務店、(株)ユーミーネット、(学)了徳寺学園、(学)了徳寺大学、(株)レイクウッドコーポレーション、(株)わくわくコーポレーション

(50音順)

個人会員に関しては、ホームページ中の協力者の紹介をご参照下さい。

<http://npo-jks.jp>

	個人	団体
正会員	251	43
寄付	23	23
アドバイザー	37	

## 入会のご案内

柔道教育ソリダリティーは、2014年1月27日より神奈川県庁から継続認定を受けました。本法人へのご寄付は、寄付金控除、損金算入などの税の優遇措置の対象になります。本法人の活動は、皆さまからのご寄付、ご支援によって運営されています。本法人の趣旨にご賛同の上、ご協力いただけましたら幸いです。

会員(個人) 一口 5,000円

(団体) 一口 50,000円 ※一口以上から受け付けます

寄付 特に定額はありせん

■ 郵便振替

口座記号番号:00200-7-37175 加入者名:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

■ 銀行振込

三菱東京UFJ銀行 平塚駅前支店 普通口座1573953

口座名称:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕

トクヒ)ジュウドウキョウイクソリダリティー リジ ヤマシタヤスヒロ

横浜銀行 東海大学駅前支店 普通口座1768726

口座名称:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕

トクヒ)ジュウドウキョウイクソリダリティー リジ ヤマシタヤスヒロ